

## 岐阜県立各務原高等学校 令和3年度第1回学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 各務原高等学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和3年6月21日（月）～ 7月9日（金）
- 3 開催方法 書面開催
- 4 参加者  
委員 長倉 守 岐阜大学大学院教育学研究科准教授  
奥村 篤 各務原市立中央中学校長  
小川 陽子 新生こどもえん園長  
福田 尚巳 各務原市市役所いきいき楽習課  
堀 善子 各務原市教育委員会総務課・ふるさと教育アドバイザー  
五反田 明 本校PTA会長・五大自動車工業取締役  
学校側 細井 恒樹 校長  
林 昭男 教頭  
溝下 肇 教頭  
新田 雄一 事務長  
関谷十糸子 教務主任  
松久 潤 生徒指導主事  
原 裕子 進路指導主事  
梅野 剛 特別活動部長  
片桐 豊 渉外部長

### 5 会議の概要（協議事項）

#### （1）令和3年度「指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）」について

意見1：普通科単独校となったが、「学力の向上」において「科学への探究心…」、「総合力を高める英語授業…」等、理数科や英語科で培ってきた指導の歴史を今後の学校づくりに活かそうとしていることがよく分かる。

意見2：「主体的、対話的で深い学び」の実現に向けた取組について、授業改善、校内研修を推進することはとてもよい。生徒にはその取組が直接伝わるが、教職員の負担増にならないようお願いしたい。

意見3：長引くコロナ対策で生徒の心と身体のバランスが崩れてしまわないようにしてほしい。また、本校の教育方針にある「開拓者精神」がますます必要とされる時代であると感じている。

意見4：「1 教育方針」―「2 教育目標」―「3 指導の重点」間に対応関係が見出せる。一方、今日的に求められる普通科改革の視点に着眼するならば、「特色化・魅力化の推進」が課題になるのではないかと。

#### （2）各分掌の「方針と重点、現状と課題」について

意見1：各部において様々な指導事項について生徒のために丁寧かつ熱心に指導にあたっている様子が伝わる。一方、マニフェストに示した事項に向けて各部がどのように貢献、対応しているかが見えるような記述にするとよいのではないかと。

#### ① 教務部

意見1：ICTやWebシステムの活用については手探りの部分もあるかと思うが、教職員、生徒ともに使いこなせるよう進めてほしい。

意見2：外部と触れ合うチャンスが激減したことで社会性、人間性を育む力が低下しないよう、オンラインなどを活用して乗り越えてほしい。そして、昨年度同様「生きる力」を育ててほしい。

意見3：「活力ある学校づくり」として「保護者・地域との連携の強化」を挙げていることに共感する。将来、地域で活躍する人材を輩出してほしい。

#### ② 生徒指導部

意見1：悩みや問題を抱えた生徒には、保護者の十分な理解や協力が必要である。保護者と学校とが協力して生徒の成長を願う指導を粘り強くしていくことが大切である。

意見2：社会規範やマナーを守る生徒の育成は大切な取組の一つなので、重点に挙げていることはよい。

意見3：今年度の〔テーマ〕から、教職員の熱き思いが伝わってくる。全教職員間でテーマを共有していただくことは大変であろうが、全教職員がテーマを共有し、結束した時の力はすごいと思う。

意見4：最近、登校時の生徒のマナーが良くなったと感じている。

#### ③ 進路指導部

意見1：コロナ禍での進路指導は情報不足になりがちであるが、随時最新の情報を入手し、ICTを活用して生徒に伝えてほしい。

意見2：昨年同様、「社会対応力」の指導をお願いしたい。

意見3：普通科高校の目標の一つは進学である。国公立大学入学者目標を具体的に設定してはどうか。また、地元の上級学校や企業と連携を深めることが重要ではないか。

#### ④ 特別活動部

意見1：コロナ前と同じように実施することが難しい行事や活動もあるだろうが、生徒にどうしたら実施できるかを考えさせることで一層の主体性が育まれる。

意見2：実績の広報活動にもICTを十分に活用するとよい。

意見3：部活動を減らす必要があるなら、生徒や保護者、地域の有志等によるサークル活動で多様性を保てないか。

意見4：生徒たちによる学校新聞を月2回程度作成してはどうか。（生徒会活動でも部活動でもよい。）

#### ⑤ 保健厚生部

意見1：美しい環境が人を育てると考えている。

意見2：スマホ依存の改善が今後一番の課題ではないか。

#### ⑥ 図書情報部

意見1：ICTが導入されたことで情報リテラシー教育の重要性が増しているが、重点に入っておりよい。

意見2：学校図書館をコミュニティースペースにという少し大胆な発想から何か生まれるかもしれない。

#### ⑦ 教育相談部

意見1：クレペリン検査やi-checkは生徒にフィードバックされ、結果を踏まえた対応や改善が図られるとよい。

意見2：様々な関係者・関係機関との連携が必要である。

## ⑧ 渉外部

意見1：創立50周年に向けた取組に期待したい。

意見2：ネットを活用した発信に加え、オンライン参加はよい手段である。

### (3) 各務原高校のふるさと教育（地域課題探究学習）について

意見1：各務原市に密着したテーマになっていると感じる。今後さらに提案型の学習になっていくと、生徒の当事者意識が高まる。

意見2：探究型学習によって、将来の職業として自分が何に向いているのかに気づき、そのためにどこへ進学するのがよいかを気づける学習にしてほしい。

意見3：コロナの影響で活動範囲に制約がかかるが、発想を柔軟にして多くの人々とつながってほしい。学校からの発信で行政、地域が動き出すと素敵である。

意見4：現状のように生徒の実態に応じた様々な仕掛けや支援を施していくと、キャリア形成や主権者教育、教科学習との往還等に関する資質・能力が向上していく。

### (4) 「スクール・ポリシー」の策定について

意見1：各務原高校の固有性である「開拓者精神（創造・挑戦・協同）の涵養と普通教育としての普遍性である知育・徳育・体育を通じた資質・能力の育成を目指し、開学当時の思いを胸に、生徒の多様な実情・ニーズに応じた学びを実現し、志高き一人一人の夢をかなえる学校を目指すべきである。

意見2：内容や表現は分かりやすく、親しみやすいものである必要がある。資料にある「スクール・ポリシーの例」では条文的な表現となっているが、例えばポンチ図のようにし、理念や概念をわかりやすく表現するのをもひとつではないか。

意見3：普通科単独校を特色として捉え、「各務原高校に行けば英語、スポーツ、特進クラスでの勉強、ふるさと教育、留学など、いろいろな選択肢から生徒が主体的に選んで実践できる」というチャレンジングな学校を目指したらどうか。

意見4：広い視野と関心を持ち、地域を含め多くの人と協働し、持続可能な未来の実現に向けて課題解決に取り組める力、自身と他者を大切に、柔軟な心で考え、行動できる力、思いやりを持って自分の考えを筋道立てて表現できる力のある生徒を育ててほしい。また、社会情勢に翻弄されることなく、しっかりと地域に根差した高校であってほしい。

意見5：少子高齢、自然災害等様々な問題に直面している社会において、グローバルあるいはローカルな視点から問題を解決し、自己及び周囲の人々が生きやすい社会を築くことを探求していく力を持った生徒を育ててほしい。

意見6：明るく優しい生徒、ごみ拾いのできる生徒、18歳成人による社会的責任を自覚できる生徒、志高い進学意識を持てる生徒を育ててほしい。

## 6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、今年度の指導の重点及び学校経営計画について、全委員の承認が得られた。
- ・普通科単独校としてどのような生徒を育てるべきか、いかに魅力ある学校としていくか、今回得られた貴重な意見、提言を今後策定する「スクール・ポリシー」に採り入れていく。